

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
21・11・7(日)
南NEWS no 84

トレーニングマッチ v s 潤徳ガルーダ

2021-11-6(土) 文化大G

○めあて：渡り廊下を使う／裏を取る／パス&ムーブ／技を使う

○南八王子 2-3 潤徳ガルーダ 前半 0-1

得点：ユヅキ君 (A コウヨウ君)、ユウセイ君

前半 6 分、CH カツヤ君がドリブルで切り込みシュート、ブロックされますが、ボールは FW ハルト君の目の前にこぼれます。ハルト君が力強くダイレクトでシュートしましたがバーの上。同 12 分、スルーパスに SB カイリ君が裏を取られ、カバーした CB ユウセイ君が追いすがるも振り切られて失点。

同 20 分、相手ペナルティアーク付近で FW ショウマ君とカツヤ君がパス交換、カツヤ君が 2 人かわして GK と 1 対 1 になりますが、グラウンドのこぼりにボールが跳ねてミートせず。後半 4 分、右サイドを突破した右 SH コウヨウ君が一度は止められますが、すぐさま激しい press でボールを奪い返し、グラウンダーの速いクロス。CH ユヅキ君が左足で合わせて同点に。同 9 分、CB ユウセイ君が高い位置でボールを奪い、ドリブルで 2 人かわしてペナルティアリアに侵入、強烈なシュートで逆転。同 14 分、左サイドからのアーリークロス、マークミスで相手をフリーにしてしまい失点、同点に追いつかれます。同 18 分、GK へのバックパスを処理できず、押し込まれて勝ち越されてしまいました。

★試合を振り返って

文化大 G で U-12 ブロックリーグが行われ、試合のない南は潤徳ガルーダさんとトレーニングマッチ (20 分ハーフ) を行いました。4 月に U-12 ブロックリーグで 1-7 と大差で敗れた相手です。前半は 6 年生 + 5 年生 (ショウタ君、コウスケ君) の市民スポーツ大会エントリーチーム。アサキ君が休みだったのでユウセイ君が CB に入りました (途中でユヅキ君に交代)。FW は途中でショウマ君が入りました。後半は 5 年生だけのチーム (ヒロト君は休み) で 6 年生相手に優勢に試合を進めました。4 月から大きく成長した姿を見ることができました。



■良かったところ

4 月の試合との大きな違いは、相手がボールを持ったときのアプローチが速くなったこと、SH と SB の距離感が良くなって、ボールを奪えるようになったことです。

コウヨウ君が何度も右サイドを突破して速いクロスを入れてチャンスを作っていました。カツヤ君は再三ドリブル突破して相手ゴールに迫りました。この二人は左足でシュートが打てれば得点できたでしょう (カツヤ君は左足シュートが 1 本ありました)。コウヨウ君のクロスに合わせたユヅキ君のゴールは左足です。マサムネ君、カイリ君は何回か相手のパスをインターセプトしていま

した。ポジショニングが良いからです。ただ二人とも、少しポジションが深い (自分のゴールに近い) ので、(CB の斜め後ろは変わりませんが) もう少し高い位置を取りましょう (バナナの形)。GK ショウタ君はバックパスをトラップミスしましたが、自分でボールを呼んでいたのがとても良かったです。こうした失敗はこれからすごい GK になるために必要なことなので気にせず、これからも積極的にプレーしてください。

■これから練習しなければならない課題

- ・逆足のキック、浮き球を跳ね返す、収める部分、アプローチした後の守備など、これまで挙げた課題は引き続き練習していきましょう。
- ・相手とゴールの間にポジションを取る後半最初の失点は、SB のポジションが原因です。相手→自分→ゴールのように相手とゴールの間に入りましょう。・スライド最初の失点は左 SB カイリ君の裏のスペースを使われ、CB ユウセイ君がカバーに行き振り切られた形ですが、CB がカバーに行けば、それまで CB がいた場所が空いてしまいます (ユウセイ君がカバーに行くことは間違っていない。問題はユウセイ君のカバーがいなかったことです)。その場所を他の誰かが埋めなければいけません。あの場面では右 SB マサムネ君が中に絞って埋めるべきでした。そうすればユウセイ君が振り切られた後、大きくなったドリブルをストップできたでしょう。または CH カツヤ君が下がって埋めます。このようにボールの位置、味方の位置によってポジションをずらしていくのをスライドと言います。練習はしていますが、もっと自然にできるまでやっていきましょう。
- ・スペースを使うめあてにしていた渡り廊下 (サイドレーン) の攻めは何回か見られました。とくに SB ハヤト君とコウヨウ君のコンビは効果的でした。ただ、足下へのパスが多かったため、スペースへ出す意識を持ちましょう。FW ユウゴ君はスペースへの効果的なパスを何本も出していました。この崩し方はこれから練習していきます。
- ・ターン試合前に話したように、強いチーム相手に何点も取られるときはすぐにボールを奪われています。狭くなったら広げるためにも、もっとターンを使えるようになりましょう。ターンすれば新しいスペースが生まれます。ターンの技は覚えていても、それがプレーの選択肢になっていません。試合の中でターンを使えるように練習していきましょう。」

by 中村元コーチ

矢上は東京都の役員として中央大会・全日本予選東京都大会を長い間観てきました。

強いチームは左右のキック力があり、ヘッドも強く、ドリブルのレベルも高く、ターン・バックパスを多様していました。みんなが 5 つ観て判断・選択・コーチングもよくできていました。

中村元コーチのレポートよく読んでくださいね。



